

特定非営利活動法人 国際協力NGO風の会

NEW WIND

9・10月号



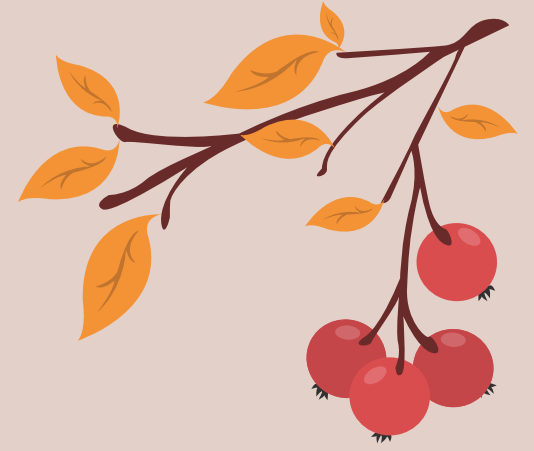
運営挨拶 p.2

出張授業 p.3

活動報告 p.4～6

お知らせ p.7～8

運営挨拶



24代広報部長の大前友紀恵です。

秋も深まり、徐々に寒くなってまいりましたが皆さまいかがお過ごしでしょうか？

わたくしにおいては、10月をもって24代運営としての役目が終わり、達成感と寂しい気持ちが入り混じっています。今なお続く新型コロナウイルスの影響で未だに渡航は難しい状況です。

しかし、Zoomでカンボジアの子どもたちに健康教育セミナーを行ったり、ラオスの布生産者の方から布を買い取って、日本の参加者に商品を作ってもらうコンテストの開催準備をしたりと、遠くにいるはずの現地の方々を身近に感じられる機会が増えてきました。

今自分達が行なっていることは本当に必要なのか、正しいことなのか葛藤しつつも、一步ずつ前に進んでいます。

挑戦し続ける私たちを、温かい目で見守っていただけると幸いです。是非次のOBOG会でお会いしましょう！



出張授業



11月5日（金）と11月12日（金）の2日間、都立芦花高校に出張授業に行ってきました。

1日目はカンボジアについて、2日目はボランティアについてをテーマに高校一年生を対象に授業を行いました。授業の最後には私たちが行った授業内容を基にしたクイズ大会を実施したのですが、「こんな細かいところまで答えることができるのすごい！」と感じてしまうほど、生徒の皆さんが一生懸命メモをとりながら授業に参加してくれ、カンボジアについて・ボランティアについて学ぼうという意欲をすごく感じることでとても嬉しかったです！

また、1日目のワークとして「学校に行けないワーク」というものを行いました。これは学校に行くことができないことで生じる負の連鎖について考えてもらうワークです。そして、そのワークを終えた後に改めて班ごとにその負の連鎖を断ち切るためにはどのような取り組みができるのかということについても考えてもらいました。

これは、国際協力の団体に所属している私たちでさえも難しいと感じてしまうものですし、国際協力を行う上で実際に向き合う課題でもあります。しかし、高校生の皆さんが「そもそも学校に行くために通学路の整備をした方がいいんじゃない？！」であったり、「教員を育成して教育の質を上げたほうがいいんじゃないかな？！」などといったように様々な解決策を提案してくれました。

生徒の皆さん一人一人が自分ごとのようにこの課題に向き合ってくれ、考えに考え抜いてくれた姿に感動しました☆☆ 実際に参加してくれた生徒の方からは「普段知れないことを楽しく学べた。」「ボランティアに興味が湧きました。」等の感想をいただくことができ、これからも多くの日本の子どもたちに国際協力について、カンボジア・ラオスについて知ってもらう機会を増やしていきたいなと改めて思いました。

9・10月の活動報告



異文化交流事業部

9.10月の活動として行ったことは主に三つあります。

一つは「夢が世界をかえていく」の動画が完成しました！世界中の老若男女の方々の「夢」が一つの素敵な動画になりました。

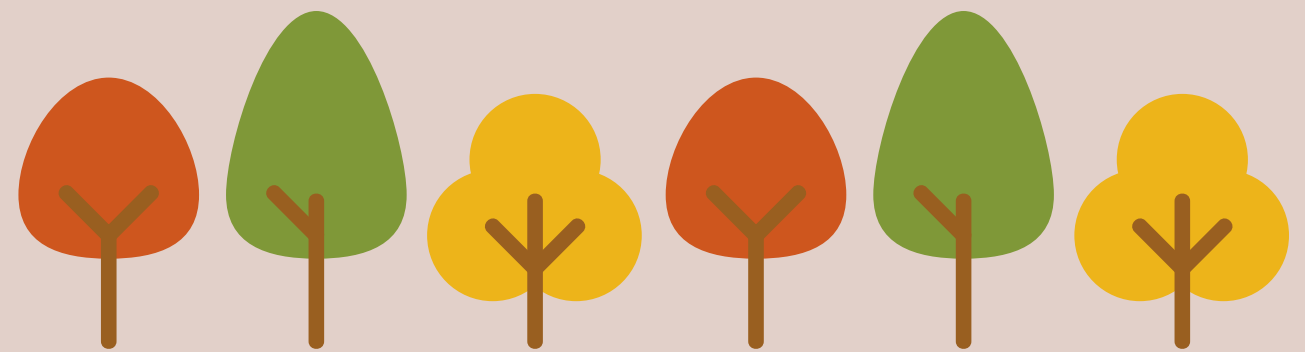
二つ目は健康教育プロジェクトです。このプロジェクトは慶應義塾大学看護学部のPEACEさんという団体と共同で行ったプロジェクトです。ロムチェック小学校の子どもたちに向けて健康に関するセミナーを行いました！

三つめは出張授業です。こちらは3ページに詳しい活動報告を掲載しておりますのでぜひご覧ください！

【メンバーコメント】

優しくて尊敬できる人たちに囲まれながら、人との出会いの楽しさを実感できた1年でした！（荒木優那）

ラオス事業部



【フェアトレード】

- ・9月コンテストの詳細決め クラファンの準備 応募者集め
- ・10月クラファン申請開始 応募者集め HP作り インスタ開設

【絵本】

- ・9月 絵本完成 制作振り返り ・10月 新作絵本計画

【学校建設】

- ・企業にメール送った ・大使館に行った
- ・n連申請のために外務省と連絡とった ・西松建設に行ってプレゼントした
- ・建築家の谷重さんと連絡をとった ・ラオス南部、北部の情報収集

【メンバーコメント】

優秀な後輩に恵まれまくって、私はなにもませんでした！笑 ラオスメンバーほんとすごい！ リスペクトの塊！p.s自分が何をしたいのかを大事に。モチベーションで動いてね！ボランティアだから！以上！（田村咲）

この一年を振り返ると、ラオス事業部は、支援予定学校からの撤退、そして新プロジェクトの発足という大きな転換期でありました。この転換は、ラオス事業部にとっては、不安要素も多々ありましたが、現在それぞれのプロジェクトが順調に進んでいるため、結果的に良い決断でした。個人としても、短い間でしたが、フェアトレードプロジェクトに関わることができ、楽しかったです。（國木康洋）

9・10月の活動報告



総合教育事業部

10月の最後が24代の引退時期でしたが、総合教育事業部では就職活動の関係で、9月にチームリーダーの交代が行われました。これまで、24代が主体となってプロジェクトを回してきた事業部であったため、9月~10月の活動は25代26代の活動しやすい環境づくりを中心に活動を行いました。

具体的にはプロジェクト活動の日程調整、対面活動の導入、プロジェクトの整理などです。結果的にプロジェクト活動の参加人数も増え、事業部内の士気も高めることができました。今後は、これまでの活動をベースにしつつ、プロジェクト活動にのぞんでいきたいです。

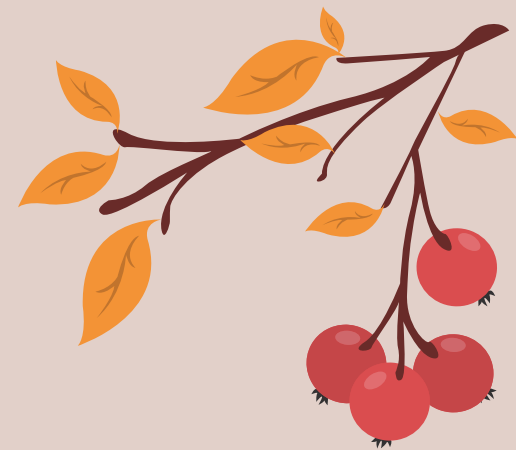
【メンバーコメント】

2020年初頭のコロナウィルス感染拡大により、カンボジアへの渡航ができなくなって1年以上が経過しました。総合教育事業部は「学校の問題を解決する事業部」であるため、現地に渡航できなくなったことで最も難しい状況に置かれた事業部だと言えるでしょう。

しかし、限られた情報や少ないコネクションを利用し、仮説を立てハード面の支援を完了させることができたのは一定の成果であり、事業部メンバー1人1人の努力のたまものです。依然として渡航できない状況が続いており、支援形態もハードからソフトに移行し、状況はさらに難しいものになってきています。そういった状況下でも、辞めずについてきてくれたメンバーには感謝してもしきれません。代替わりし、体制が変わると思いますが、これからも「自身の頑張りがだれかの可能性になっている」ということに忘れず、NPOの一員であることに矜持を持ち続けてほしいです。



9・10月の活動報告



ファンドレイジング事業部

9,10月のファンドレイジング事業部は、メンバー間の仲をより深めつつ活動を活発化させました。

物販チームはコラボメニューの実現に向けてJUNKO Associationさんへのヒアリングを行ないました。ラオス事業部との協力を模索中です！
広報チームは中高生向けのポスターが完成したとともに、SNSに力を入れました。会員インタビューや各事業部の紹介を行なっています！
企画チームは高田馬場付近にあるマキマキさんへのグッズ委託販売と早稲田祭での物販企画を行ないました。どちらも成果を生むことができ、嬉しく思います！全体では当事業部を一から見直す機会がありました。

3年生が引退で寂しく思う反面、新たなメンバーでこの事業部の意義を見つめなおして、自分たちらしく頑張っていこうと決意を新たにしています！

【メンバーコメント】この1年間、ファンドレイジング事業部は新しい挑戦をしてきました。プロジェクトを考案するにあたっては様々に試行錯誤して着実に進め、後半は新入生が入ったことなどにより各チームの動きが活発しました。みんなで楽しく活動できたことが一番の成果です！

【前TLコメント】ファンドレイジング事業部2代目チームリーダーを務めさせていただいた山内優杜です。昨年度はコロナウイルスの影響もあり、制限された活動でした。しかし当事業部では、その中でも何ができるか全員で考え、事業に取り組んでまいりました。講演会の開催、オンラインショップの開設、物販販売委託など新たな試みを1.2年生中心に進めています。今年度は発展途上の事業を軌道に乗せ、風の会をさらに支えていく事業部へと成長していきます。今後も温かく見守っていただけると幸いです。



お知らせ



「ゆめせか」動画はこちら↑

夢が世界を変えていくプロジェクト

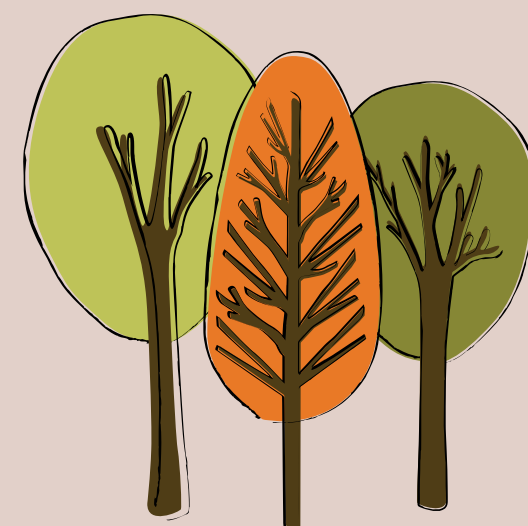
性別世代を問わず世界中の多くの方の夢を一つの動画にしたのが「夢が世界を変えていく」です。

この動画企画はカンボジアへの教育支援を通して「国籍・境遇・性別関係なく全ての子どもに、人生の大きな原動力になるようなそんな夢を持ってほしい」という願いを持ったことから始まりました。

夢が自分の人生を変えて、その自分の人生が誰かの人生を動かして、そんな連鎖が世界をも変えていえる。そんな思いでこの名前をつけました。動画自体は完成しましたが、動画に出演してくださっている方々の夢やこの動画を見て夢を持った人たちの夢はこの動画で完成されるものではなく、これから先も追いつけられるものだと思います。多くの人が夢に向かって歩みを進めることができるような、それによってその人の人生がより豊かなものになったら嬉しいです。

また、この動画があなたにとってのなにかのきっかけとなったら幸いです。

最後に改めて、この動画に参加してくださった方々、今こうしてご覧くださっている方々に心から感謝申し上げます。



お知らせ



ラオス事業部フェアトレードチーム

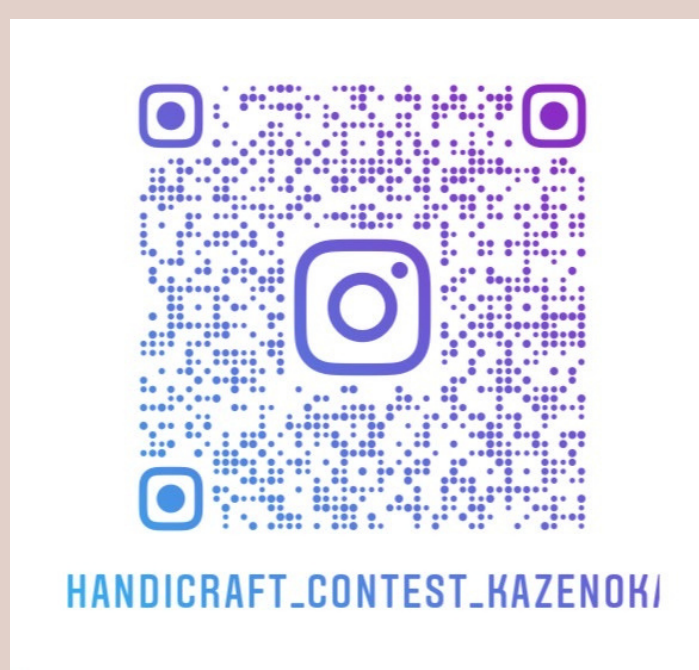
ラオス事業部フェアトレードプロジェクト主催の

【HANDICRAFT CONTEST】を11/1より開催しています！コロナ禍で困窮しているラオスの布織物生産者さんを救うべく立ち上がったプロジェクトです！モノを作るのが好きな方、困っている人を救いたい方、ご参加お待ちしております！！特設HPページもぜひチェックしてみてください！

また、コンテストの開催にあたりクラウドファンディングにて資金調達を試みます。期間は11/21~12/31で【CAMP FIRE】にて掲載いたします！リターンも用意しておりますので、ぜひ下記のQRコードより掲載ページをご覧ください！皆さまのご協力を心よりお待ちしております。



公式ホームページ



公式Instagram



クラウドファンディング